



核リスク高まり 災害影響も懸念 撤回求める声を

原発への国際融資解禁

NIEワークシート 中～高校

核戦争防止
国際医師会議
(IPPNW)理事

ティルマン
・ラフ

TILMAN RUFF
1955年、オーストリア生まれ。モナシユ大で医学を学んだ後、IPPNW共同代表などを歴任。

気候危機が深刻化する中、日本をはじめ複数の国が原子力発電の拡大に関心を示している。世界銀行はこれまで避けてきた原子力発電所への融資を決定し、アジア開発銀行（ADB）も同様の方針の採用を検討中だ。しかしこれには重大なリスクと問題が伴う。

一つの国際金融機関はこれまで、安全性の懸念や核拡散リスク、放射性廃棄物問題などを理由に原発融資を停止していた。

原子力開発は核兵器能力と密接に結びついている。インドや北朝鮮は使用済み核燃料からプルトニウムを抽出して核兵器を製造した。核燃料用の濃縮ウランを生産する施設を保有すれば、兵器級濃縮ウランの入手が比較的容易になる。パキスタンとイランがその例だ。

さらに近年、新たなリスクが鮮明化している。ロシアのウクライナ侵攻では紛争地域の原発が標的となった。今年9月23日以降、戦争でウクライナのザポリージャ原発への外部電源供給が長時間、遮断された。これがもたらす危険性は、東京電力福島第1原発事故でわれわれが経験したものと同様である。

深刻化する気候危機も重大な懸念だ。災害や異常気象の頻度や規模の増大は原発へのリスクをもたらす。さらに気候変動によるストレスが武力紛争を加速させている。

国際赤十字などによれば、紛争は現在130件に上り、第2次大戦後で最多である。紛争下にある原子炉や使用済み燃料プールは、サイバー攻撃を含め、周辺環境や住民への大量の放射能放り出しリスクを著しく高める。

健康リスクも無視できない。科学的な証拠は蓄積しており、原発は事故時だけでなく通常運転時にも人間の健康に悪影響を及ぼすことが示されている。発電所周辺での小児白血病発生率の増加がその例だ。

原子力発電が気候危機の緩和に不可欠だと主張されることもあるが、この主張には確固たる根拠が欠けている。

原発の建設には平均でも15年超を要し、プロジェクトはしばしば予定より遅れる。建設コストも膨大である。

短期的に温室効果ガス排出を急激に削減する必要性を考慮すれば、原子力発電は効果的な解決策となり得ない。

世界的に太陽光・風力発電のコストは急速に低下しており、主要な電源となりつつある。手頃な価格で安全かつ核拡散リスクがなく、建設期間も短い代替手段が存在する中、高コストで核拡散懸念も伴う原発に巨額を投じることは、数多くの機会を失うことになる。

国際金融機関が原子力融資の制限を解除すれば、これらの問題はさらに深刻化する。

こうした資金で原発建設を計画する途上国には、安全運転や災害対策、廃棄物や放射性物質管理に必要な技術や規制、緊急対応能力が不足している。これらの国々に真に必要なのは、安全で手頃な再生可能エネルギーの急速な拡大である。

原子力融資再開は重大な政策転換だ。この政策の撤回を求める世界中の市民の声は高まりつつある。日本の市民や政治家にも、この重大な問題に関心を寄せ、声を上げていただきたい。

上の文を読んで、下の問いに答えましょう。

- 原子力発電が核拡散リスクになるのはなぜですか。本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。
- 原発は下の表の状況下でどんなリスクがありますか。本文中の言葉を使って簡潔に書きましょう。

戦時、紛争時	
災害時	
通常時	

3 筆者が気候危機の緩和に自然エネルギーを推奨するのはどんな理由ですか。本文中から1段落で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

NIEワークシートのこたえ（2025年12月1日公開）

◆ワークシート「原発で核リスク高まる(社会)」

2025.11.27付 朝刊 13面 解答

- 1 核燃料 (インド)
- 2 戦時 紛争時 : 原発が標的になり、放射能が放出する
災害時 : 災害で原発が壊れ、放射能が放出する
通常時 : 発電所周辺の人々の健康に悪影響を及ぼす
(同意可)
- 3 世界的